

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 日本写真印刷株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 7915 URL <http://www.nissha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (氏名) 鈴木 順也

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 最高財務責任者 (氏名) 西原 勇人

TEL 075-811-8111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年3月期第1四半期	22,504	△19.9	△1,911	—	△1,936	—	△1,432	—
23年3月期第1四半期	28,090	△10.3	358	△90.0	312	△92.1	160	△93.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △2,231百万円 (—％) 23年3月期第1四半期 △992百万円 (—％)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△33.38	—
23年3月期第1四半期	3.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年3月期第1四半期	134,074	77,199	57.6
23年3月期	142,942	80,396	56.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 77,199百万円 23年3月期 80,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	118,000	3.5	300	—	500	—	250	—	5.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 ― 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) ニッシャコリア精密射出(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注)詳細は、添付資料4ページ「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	45,029,493 株	23年3月期	45,029,493 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,113,410 株	23年3月期	2,113,385 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	42,916,089 株	23年3月期1Q	43,237,024 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、平成23年8月4日(木)に機関投資家向け電話会議を開催する予定です。この電話会議で使用する資料については、開催にあわせて当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるグローバル経済情勢は、米国では個人消費の停滞による景気低迷が続く、欧州では財政問題からくる経済不安が増しているなか、中国の金融引締め政策などにより、これまで景気回復を牽引していたアジア新興国にも鈍化懸念が広がりました。また、日本経済は東日本大震災の影響もあり厳しいスタートとなりました。サプライチェーンの早期回復など震災からの立ち直りの動きは続いていますが、今後の電力不足問題や円高の進行など先行きの不透明感は強まっています。

このような経済状況の中で、当社は利益の回復を最重点課題として、「今すぐとるべき対策」による固定費や変動費の削減に注力する一方、技術優位性のある分野の拡大に努めました。しかし、当社が主力市場としているパソコンや携帯電話などのコンシューマー・エレクトロニクス分野では、製品需要の急激な変動や製品、サービスの低価格化が進行しています。これらの要因が生産効率の悪化と価格引下げ圧力となって売上高と利益の両面に重大な影響を及ぼしたため、業績の回復には至りませんでした。

こうした事業展開の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は225億4百万円(前年同期比19.9%減)、利益面では営業損失は19億11百万円(前年同期は3億58百万円の営業利益)、経常損失は19億36百万円(前年同期は3億12百万円の経常利益)、四半期純損失は14億32百万円(前年同期は1億60百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

産業資材

産業資材は、プラスチック製品の表面を加飾する技術を柱とするセグメントです。プラスチックの成形と同時に転写を行う「Nissha IMD」は、グローバル市場でノートパソコン、携帯電話、自動車(内装)、家電製品などに広く採用されています。

当第1四半期連結累計期間においては、主力である個人用ノートパソコン向けと携帯電話向けの需要が低迷したことなどにより、売上高は105億30百万円となりました。

デバイス

デバイスは、精密で機能性を追求したタッチ入力デバイス「Nissha FineTouch」を中心とするセグメントです。グローバル市場で、スマートフォン、携帯ゲーム機などに採用が拡大しています。

当第1四半期連結累計期間においては、スマートフォン向け静電容量方式タッチパネルの急激な需要変動と競争激化に加えて、従来型の抵抗膜方式タッチパネルの需要が低調であったことにより、売上高は76億79百万円となりました。

情報コミュニケーション

情報コミュニケーションは、お客さま企業の広告宣伝、販売などに関するコミュニケーション活動全般をサポートするセールスプロモーションや商業印刷、出版印刷のほか、文化財のデジタルアーカイブ製作も手がけています。

当第1四半期連結累計期間においては、東日本大震災後の企業広告の自粛や印刷物の減少などの影響によって受注競争は激しいものとなり、売上高は42億32百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,340億74百万円となり前連結会計年度末(平成23年3月期末)に比べ88億68百万円減少しました。

流動資産は598億98百万円となり前連結会計年度末に比べ69億27百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金が52億9百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は741億75百万円となり前連結会計年度末に比べ19億40百万円減少しました。主な要因は、時価評価により投資有価証券が22億43百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は568億74百万円となり前連結会計年度末に比べ56億71百万円減少しました。

流動負債は451億45百万円となり前連結会計年度末に比べ46億30百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が56億12百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は117億29百万円となり前連結会計年度末に比べ10億40百万円減少しました。主な要因は、繰延税金負債が9億11百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は771億99百万円となり前連結会計年度末に比べ31億96百万円減少しました。主な要因は、当第1四半期連結累計期間における四半期純損失を14億32百万円計上したため利益剰余金が減少したことに加えて、その他有価証券評価差額金が13億23百万円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、25億61百万円増加し、196億68百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は53億52百万円となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間に減価償却費を22億28百万円計上したことに加え、たな卸資産が12億56百万円減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億6百万円となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間に有形及び無形固定資産の取得として19億14百万円を支出したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は12億30百万円となりました。これは配当金の支払いにより8億71百万円を支出したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に発表した通期の業績予想の変更は行っていません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において、当社の連結子会社であったニッサコリア精密射出(株)は、平成23年2月18日付で清算手続を結了したため、連結の範囲から除外しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,109	20,681
受取手形及び売掛金	25,348	20,138
商品及び製品	6,684	6,636
仕掛品	5,338	4,457
原材料及び貯蔵品	3,208	2,923
繰延税金資産	2,280	2,566
その他	6,078	2,688
貸倒引当金	△220	△193
流動資産合計	66,826	59,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,359	21,969
機械装置及び運搬具（純額）	16,626	15,504
工具、器具及び備品（純額）	1,501	1,620
土地	7,834	7,774
リース資産（純額）	3,549	3,406
建設仮勘定	1,579	2,638
有形固定資産合計	53,450	52,913
無形固定資産		
のれん	116	102
ソフトウェア	4,212	3,982
ソフトウェア仮勘定	1,105	1,572
その他	130	134
無形固定資産合計	5,565	5,791
投資その他の資産		
投資有価証券	9,678	7,434
その他	8,241	8,852
貸倒引当金	△820	△818
投資その他の資産合計	17,099	15,469
固定資産合計	76,115	74,175
資産合計	142,942	134,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,894	16,282
短期借入金	20,380	20,224
未払法人税等	191	119
賞与引当金	1,601	2,377
役員賞与引当金	53	7
設備関係支払手形	1,864	875
その他	3,789	5,258
流動負債合計	49,775	45,145
固定負債		
退職給付引当金	6,267	6,355
資産除去債務	30	30
その他	6,472	5,344
固定負債合計	12,770	11,729
負債合計	62,546	56,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,684	5,684
資本剰余金	7,355	7,355
利益剰余金	67,679	65,281
自己株式	△2,925	△2,925
株主資本合計	77,794	75,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,409	3,086
為替換算調整勘定	△1,807	△1,283
その他の包括利益累計額合計	2,601	1,802
純資産合計	80,396	77,199
負債純資産合計	142,942	134,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	28,090	22,504
売上原価	23,743	21,404
売上総利益	4,346	1,100
販売費及び一般管理費	3,987	3,012
営業利益又は営業損失 (△)	358	△1,911
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	252	118
固定資産賃貸料	147	—
その他	55	95
営業外収益合計	471	227
営業外費用		
支払利息	41	32
投資有価証券評価損	98	1
為替差損	371	212
その他	7	6
営業外費用合計	517	252
経常利益又は経常損失 (△)	312	△1,936
特別利益		
固定資産売却益	3	7
貸倒引当金戻入額	37	—
国庫補助金	—	59
特別利益合計	40	67
特別損失		
固定資産除売却損	8	0
固定資産圧縮損	—	59
関係会社清算損	—	209
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	80	—
特別損失合計	88	270
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	264	△2,139
法人税等	109	△707
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	154	△1,432
少数株主損失 (△)	△6	—
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	160	△1,432

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	154	△1,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,377	△1,323
為替換算調整勘定	229	524
その他の包括利益合計	△1,147	△798
四半期包括利益	△992	△2,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△986	△2,231
少数株主に係る四半期包括利益	△6	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	264	△2,139
減価償却費	2,432	2,228
のれん償却額	14	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,021	775
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42	△46
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	71	87
投資有価証券評価損益 (△は益)	98	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△30
受取利息及び受取配当金	△268	△131
支払利息	41	32
為替差損益 (△は益)	△16	78
固定資産除売却損益 (△は益)	4	△6
関係会社清算損益 (△は益)	—	209
売上債権の増減額 (△は増加)	876	5,332
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,834	1,256
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,676	△5,749
その他	1,967	2,523
小計	5,285	4,436
利息及び配当金の受取額	266	130
利息の支払額	△23	△32
法人税等の支払額	△1,258	△162
法人税等の還付額	—	979
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,268	5,352
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,999	△1,914
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	207
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の償還による収入	—	1
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	3	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,990	△1,706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	43	△191
長期借入金の返済による支出	△18	△0
リース債務の返済による支出	△99	△166
自己株式の取得及び売却による収支	△0	△0
配当金の支払額	△894	△871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△969	△1,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	505	2,561
現金及び現金同等物の期首残高	25,473	17,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,979	19,668

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業資材	電子	情報コミュニ ケーション	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,098	11,414	4,497	80	28,090	—	28,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98	—	—	462	561	(561)	—
計	12,196	11,414	4,497	542	28,651	(561)	28,090
セグメント利益又は損失(△)	2,002	208	△296	55	1,969	(1,611)	358

(注) 1. 「その他」の区分は不動産事業、人材派遣事業等です。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,611百万円には各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業資材	デバイス	情報コミュニケーション	その他 (注)1	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,530	7,679	4,232	62	22,504	—	22,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	—	269	276	(276)	—
計	10,537	7,679	4,232	331	22,780	(276)	22,504
セグメント利益又は損失(△)	△182	△336	△91	56	△555	(1,356)	△1,911

(注) 1. 「その他」の区分は不動産事業、人材派遣事業等です。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,356百万円には各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。